

藤沢

2016年9月1日

第268号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

主な記事

- ・福島の子どもたちとともに湘南の会
- ・原水爆禁止世界大会に参加
- ・アオバト観察記 ・クロマグロの危機
- ・気象情報ジェット気流にまつわる話



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 y e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

護憲・改憲国民投票で、どうする日本国民！

ヒトラーの再現は許すまじ

参議院選挙結果、憲法改正を目指す勢力が戦後初めて、衆参両院で改正発議に必要な3分の2の議席を確保した。選挙中は憲法改正には触れなかった安倍首相は、選挙が終わったとたん改憲に取り掛かろうとしている。既に昨年成立した安全保障関連法に基づいての「駆けつけ警護」の実施にむけ訓練を行う、これは、南スーダンへのPKO派遣だ。すでに、自民党は、「日本国憲法改正草案」を発表し、国民投票法も施行されている。

日本国憲法改正は、衆参総議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民に提案して、国民投票で過半数の国民の承認を経なければならない。問題は日本国民の投票動向である。ある新聞の世論調査によれば、安倍内閣支持率は、48%、(直近では62%との新聞発表もある)支持しないは29%である。自民党の改憲案は、国民主権と恒久平和主義を否定し、憲法9条の戦力不保持を削除して国防軍を置くことや、国民の基本的人権を制限することを目指している。このような改憲を許すことができようか。

国民投票といえば、去る6月イギリスはEU離脱を決議する国民投票を実施した。離脱派勝利という開票結果は、世界中を驚愕させた。ドイツのヒトラーは、民主的なワイマール憲法の直接民主主義の手続きに従って国民の総意により、国会で多数派となり、総統・独裁者となったという。ドイツ国民がヒトラーの政治的意図を知り投票していたら、悲惨な大戦は起きなかつただろう、と思うと残念だ。国民投票の主権者は国民である。その国民個々人が自分の意思を明確に自覚し投票しなくてはなるまい。

今、日本国民は、①過去の戦争の歴史と現状をよく知ること。②日本国憲法を読みなおすこと。③そのうえで自分が主権者であるという自覚に立って憲法に対する考えをまとめ、再び戦争への道を歩ませない、次世代への責任ある意思能力を持つことが求められる。

さらに、一人でなく多くの人たちが継続して団結し、行動する時である。

安保法制違憲訴訟に原告やサポーターとして参加することもできる。

(諏訪謙司)



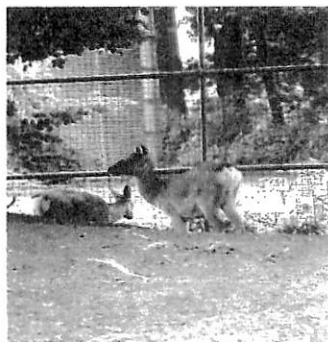
こどもの国のプールで遊ぶ福島親子
(2ページの記事)

「2016夏ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南&こどもの国」第9回開催

夏休みの7月27日から4泊5日、「福島の子どもたちとともに・湘南の会」は福島県から親子16家族44人を藤沢及びこどもの国（横浜）に招き、東日本大震災、それに続く福島第1原発事故の被災者にリフレッシュしてもらう9回目の活動に取り組みました。

福島では5年経つに関わらず、幼児の遊ぶ環境はそれほど変わっていない事を改めて知らされました。だいぶ除染されたとはいえ、通園、通学路や公園の一部など、高い放射線量のところは至る所にあり、子どもを安心して外に遊ばせておけないといえます。

藤沢では日本大学生物資源科学部の協力を得て、宿泊・食事をし、動物とのふれあい、ヤギ乳と牛乳の試飲比べ、鹿肉ソーセージの試食など珍しい体験をしました。セミの羽化も見ることができました。



日大農場 日本シカとの触れあい

湘南台子ども館で宇宙劇場を楽しみ、世界の民族楽器などを見て、聞いて、さわって遊びました。

こどもの国では、プールでいっぱい泳いで遊び、手作り凧揚げやスイカ割りなど楽しみました。

感想には「お友達ができてよかった」。お母さんも「子どもが笑顔で、外で遊ぶのを見て嬉しかった」などが寄せられました。

震災当時18歳未満の子どもの、福島県健康調査によると、172人も甲状腺がん患者が見つかりました。甲状腺がんは進行が遅いので、これからも更に増える可能性が大きいと思われます。県外保養で少しでも心身共に元気になって欲しいと願います。

皆さまのご協力、ご支援に深く感謝し、これから

〈低炭素都市ふじさわをめざして〉

も末永く見守り、ご支援お願いしたいと思います。
(福島の子どもたちとともに・湘南の会 青柳節子)

アオバト観察記 大磯照ガ崎

アオバトは、6月から9月下旬ころまで、丹沢山地から大磯海岸・照ガ崎に飛来する。

特に朝夕は、大きな群の飛行が見られる。羽毛が美しく、黄緑色をしている。雄は翼の肩部がぶどう色で雌よりも大きい。

岩礁に降りると、窪みの海水を飲み、尾羽や脚を海水に漬けたりもする。この習性は、彼らが餌にしている木の実や果実には、塩分が殆んど含まれていないので、その栄養分を吸収するために、ナトリウムやカリウムを摂取していると言われている。

ある日の出来事

大きな群が飛来している日には、渚に大型三脚付きの太いレンズが居並ぶ。沖に向けたカメラが、モードラの音を響かせた。レンズの先のスペクタクルは、ハヤブサがアオバトを襲い、爪に掛ける瞬間の光景だった。青空に羽毛が飛び散る。

「撮れた」と叫ぶカメラマンの一人は、「友達と二人で九州から来た。4日目」と興奮気味。

アオバトは、ハヤブサを間一髪でかわしたり、襲いくる激浪を浴びながら飛び上がったたりもする。そんな習性には、遊び感覚が働いていると思えてしまう。

しかし、台風後の渚には、沢山の死骸が打ち上げられていた。その大半は、雌と幼鳥だと聞いた。

ここにも、種が生き抜く過酷な試練があった。

川澄誠一



原水爆禁止世界大会に参加

広島での「原水爆禁止 2016 世界大会」に参加できた。世界大会(8/4~8/6)は、公式による国際大会(8/2~8/4)とは別に行われ、長崎大会(8/8~8/9)と広島大会は一連であるが、私は広島だけ参加した。「核のない平和で公正な世界のために」のタイトルが目についた。

平和公園は被爆地ヒロシマの原爆ドームが向こうに見え式典会場が準備されていた。日程が世界大会総会、分科会、女性のつどい 記念式典 閉会総会など、ぎっしり、市内観光の暇は無さそうなので、先ず平和記念資料館へ行き被爆の数々の展示品、写真などを見て回った。話に聞いていた、見るに忍びないという「被爆再現人形」は撤去されていた。だが5月にオバマ大統領が折った折り鶴は大切にガラスケースに、写真も大きく展示されていた。

世界大会開会式は会場の体育館いっぱい 4500 人ほどが集う。各国からの政府機関代表は国連軍縮問題担当、マレーシア、メキシコなど大使、加えて世界の平和運動団体代表や個人が28カ国から89名が参加、スピーチをした。

全国から平和行進を歩き通した人々の中には外国からの参加者も多かったのはびっくりだった。

オランダから平和団体のセルマさんが「米軍の核弾頭 20 発が配備されている。国として核兵器を禁止するという提案の署名を募り、元閣僚や著名な俳優、多くの市長などが賛同し 45000 人が署名したと発言。



大バールンを持って訴える「爆弾ではなく鉛筆を」(オランダ代表)

フランスの平和委員会会長のロランさんは、「子どもたちが武器や争いのない世界で安全に生きられる環境づくりに貢献したい」と平和運動に加わったこと。各国とも核兵器を無くすための運動が広がっていることを痛感した。

ヒバクシャ代表からは 90 歳を超え今のうちに被爆当時を
〈藤沢エコネットニュース268号〉

語って、核兵器廃絶を訴えた。

閉会総会ではトークが次々と積極的だった。海外からのトークに交じって、福島代表は、

「青い空は智恵子が描いていた本当の空、今、モヤのかかった空に避難者への配慮、被爆者への補償はほど遠い。だが希望はある、原発反対の議員が誕生、沖縄へも発信と、「智恵子抄」を引用して発言した。

分科会では「呉基地調査行動」に参加、分厚い資料をもらい所々でバスから降りて見ながら解説を受けた。呉の歴史と役割がよくわかる。米軍基地と自衛隊基地は広島とは僅か21 kmの場所、自衛隊の中核を担う役割を果たしているという。呉港には横須賀と同じような軍艦がたくさん停泊していた。一度は尋ねてみるとよい。
(荒井)

クロマグロの危機!

このままではマグロの刺身は食べられなくなる

第 12 回中西部太平洋マグロ類委員会(WCPFC)北小委員会(NG12)で太平洋クロマグロの漁の規制について話し合われる会議が福岡で8月29日~9月2日まで、開催されています。議長国を務めるのは日本、残る資源量はわずか 2.6%、絶滅の危機にあります。原因は、獲り放題状態の産卵期の巻き網漁などによる乱獲、マグロたちを救うには、漁の規制を入れるしかない。マグロは繁殖力がとても高いので、数年禁漁するだけで、どんどん数が増えていきます。

世界最大のマグロ消費国である日本がリードし、漁を規制し(産卵期のマグロを守る)マグロたちを絶滅から救うことができます。クロマグロを守る施策を打ち出さねば、取り返しの付かないことになります。クロマグロは最高級品で、「黒いダイヤ」と呼ばれ、価格高騰に伴って乱獲が進んだのです。

魚は、資源量が 10%を下回ると「資源崩壊」と言われ緊急事態です。2.6%しかないといわれた今、さらに強力な施策が求められます。WCPFC の本会議で決議される議題のうち、北小委員会の管轄下にある魚種については、北小委員会からの提言がなければいけないという WCPFC のルールがあります。今年の北小委員会で思いきった保護強化策こそが、太平洋クロマグロに残された最後の希望です。
(生物資源科学博士 宮地俊作)

ジェット気流にまつわる話し

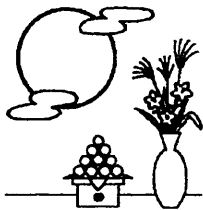
(シリーズ4. 大石が生まれた時代)

今後のストーリーの展開に関わる次の点を付け加えておこう。大石は、1910年(明治43年)に鹿島灘沖で発生した暴風雨による海難事故を防ぐために重要な高層大気の観測のため、高層気象台を設立する命を受けて世界最高水準のリンデンベルグ高層気象台へ留学した。丁度その少し前に、欧米を視察中であった寺田寅彦が、新しい領域である高層気象観測の将来性について岡田武松へ次の主旨の書簡を送っている。

それによると「どこへ行っても高層気象観測が始まっている。日本ではどうしているかと質問される。観測方法は比較的容易と考えられるので日本でもすぐに始められるのではないか。是非、君の力で始めたらどう。海洋気象観測についても見聞したが、これは特別な局がなければ難しい・・・」という具合であった。

結局、寺田の勧誘にも関わらず、岡田は高層気象観測には携わることはなかった。明治政府は、中央気象台観測課長を経験した大石を高層気象観測の責任者として考えていたためである。岡田はといえば、大石がドイツへ向かった1911年に、学位論文「梅雨論」を完成させて理学博士号を取得した。大石が未開拓な分野に取り組む選択するような性格であった一方、岡田は緻密な議論を積み上げて裏付けを探究する学者タイプであったと思われる。(つづく)

林 陽生 (NPO 法人シティ・ウオッチ・スクエア理事長)



放射能測定値

(HORIBA Radi) 8月の雨の日に測定(地上50cm)

藤沢銀座通りダイエー前	0.066 Sv/h
藤沢市民の家	0.056 Sv/h
石川橋そばの草むら	0.031 Sv/h
遠藤デニーズ駐車場	0.042 Sv/h
石川イトーヨーカドー東側道路	0.053 Sv/h

EcoNET INFORMATION

「小さき声のカノン」上映とトーク

日時 9月13日(火)

①上映 10:10- トーク 12:10

②トーク 13:00- 上映 13:30

場所 神奈川公会堂ホール (JR 東神奈川駅)

主催:WE 21 ジャパンかながわ・さいわい・つるみ

045-633-1537

藤沢母親大会 9/17(土)10:00~16:00

記念講演「海の中から地球が見える」武本匡弘さん

午前中は分科会「ザ・おもいやり」上映など

資料代500円(保育あり 0466-26-1980へ申込を)

地球温暖化と異常気象

講師 山川修治さん(日大地球科学科教授)

9月25日(日)14:00-16:30

ふじさわ名店ビル6階ホール 資料代500円

主催/問合せ 湘南学習会議・鎌倉逗子学習会議

0466-44-3863 大山

藤沢エコネットから

◆見学学習会「放射性焼却灰のゆくえ」

10月17日(月)10:00-12:00

辻堂浄化センター現地集合

◆前号267号4ページ右6行目と12行目を訂正し
お詫び申し上げます

大庭自然探偵団→藤沢探鳥クラブ

菅谷昭(医師 元松本市長)下線部分→現

◆会員募集=年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行(9900)店番(029)

当座預金 00465017 サイコネット

◆事務局会議 9月8日(木)13:30~六会市民プラザ

《編集後記》ナシ、ブドウなど秋の果物が美味しい。

リオ五輪でのメダルラッシュに沸いた8月、重なる台風と豪雨に収穫間近の作物がダイナシになったり人的被害も多い東北、北海道に心が痛む。藤沢でも近年になく避難準備情報が発令されたが被害はいかほどか?。例年は9月がその時期だがやはり地球温暖化による異常気象というのか。秋は温暖化についても学習し災害に万全の準備をしておこうと思う。(H)